

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 令和2年度課題別研修 「算数・数学教育教授法改善指導者養成」

(英文) Leadership Training on Improving Mathematics Lesson Delivery
in Primary and Secondary School

(2) 履行期間 令和2年11月9日～令和3年3月19日

(受入期間 令和3年1月25日～令和3年2月5日)

(3) 研修員数 10人

(4) 公立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 秋田 美代

2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

本研修は、コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、2021年度の日本国研修のプレ研修として、オンラインで実施された。研修期間は2週間であったが、時差の関係で大洋州地域とアフリカ地域の研修を同時に行うことが困難であるため、講義においては大洋州地域とアフリカ地域に分けてそれぞれを別日に研修を行うこととした。研修員のオンライン研修期間は、インセプションレポートの発表と研修のまとめを含めて6日間であった。オンラインによるプレ研修は、実質4回の講義となることから、研修員の日頃の授業改善に役立つように、JICA案件目標における「単元目標3」の授業設計、教材開発、学習指導案の作成についての理論と実践についての理解を図ることに焦点を当てて研修を実施した。本研修における案件目標と単元目標の達成度は次の通りであった。

(1) 案件目標（アウトカム）

案件目標：研修員の所属組織が、研修員の本邦研修での学びに基づき、自らの使命に基づいた算数・数学教育の改善を目指す教員研修の実施計画を作成できる。

指標：カリキュラム改善案が研修員所属先の所属長によって承認されていることを、帰国後にJICAへ提出する最終報告書を通して確認できる。

(2) 単元目標 (アウトプット)

単元目標③：授業設計，教材開発，学習指導案の作成，授業評価ができる。

指標：生徒の数学の理解を深める授業デザインの理論，生徒が辿るべき学習の過程と教員の支援について理解でき，その授業デザインに沿った学習指導案の作成方法と実際の授業展開を生徒の数学の理解を深めることと関連付けて考察できる。